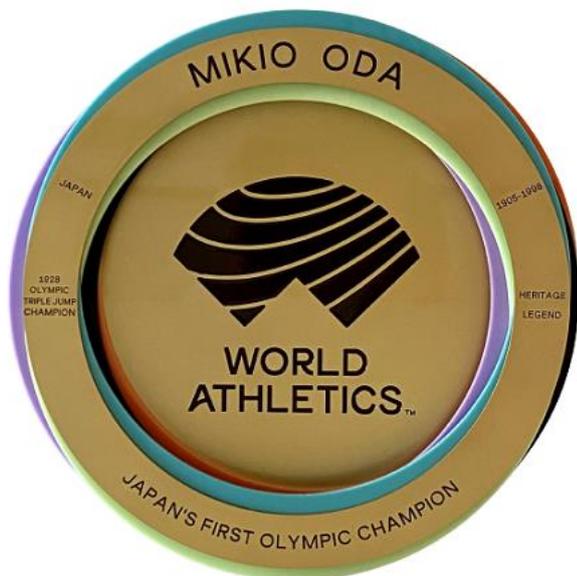


World Athletics Heritage Plaque

織田幹雄氏、世界陸連 ヘリテージプラーク受賞！



織田先生の功績が 世界的な遺産として称えられる

織田先生は 1928 年のアムステルダムオリンピック三段跳にて 15m21cm の記録で金メダルを獲得し、すべてのスポーツにおいて日本初のオリンピック金メダリストとなったことにより、受賞にいたりました。

2021年12月9日、 世界陸連が授賞を発表！

【ヘリテージプラークとは】

世界陸連が 2018 年 12 月に創設し、世界の陸上界の歴史において、多大なる貢献を果たした個人や団体に授与されるもの。

●授賞カテゴリー

- ①City (都市：複数の国際大会のホストシティ)
- ②Competitions (大会)
- ③Legend (レジェンド：選手、コーチ、役員)
- ④Landmarks (ランドマーク：競技場等)
- ⑤Culture (カルチャー：映像、出版物等)

織田先生は「③レジェンド」分野での受賞となります。

<お知らせ>プラーク(盾)は、織田記念陸上競技大会当日に、競技場へ展示します。
また、現在、海田町にある織田幹雄スクエアに展示されています。5月6日まで。



織田幹雄 (Mikio Oda)

「陸上界の神様」、「日本陸上界の父」

【出身地】 安芸郡海田町

【主な戦績】 第 9 回オリンピック・アムステルダム大会
▶優勝 15m21
※日本人初のオリンピック金メダリスト

【自己最高記録】 第 1 回一般対学生陸上競技大会 (1931 年)
▶15m58 ※当時の世界記録

広島陸上競技協会 HP「陸上人」より (画像提供：中国新聞社)